

ミニデイサービス便り

新しい場所

平成14年3月28日木曜日、目の前の公園のさくらが咲きはじめ、春うらら。

今日は、新しい事務所でのミニデイサービス、初日にふさわしい日和となった。

広くなったフロアや明るくなった部屋、お昼寝も十分出来る腰掛け式の畳のコーナー、青畳のいいにおいが残っていて、気持ちまでゆったりさせる。

対面式の台所はフロアが見渡せ、みんなの顔が全部見えて安心。

楽器も十分に置けるからいつでも自由を使うことが出来る。フロアにはピアノや大太鼓の洋楽器を、畳みには和太鼓のワンセットが似合っている。

全面ガラスで行き交う人が中をのぞいていられる。バリアフリーでとても気軽に入りやすい。早速、知らない方が、演芸会でも始まるにだと座っておられたのには驚いた。

新しいところで、スタッフも何だか落ち着かないが、利用者さんも多少落ち着かれない様子だった。なれない場所は、少しの間違和感があるのでしょう。

「高齢になって、住みなれないところに移るのは場所も顔も知らないからよくない」と言われることですが、ミニデイサービスの場合は、場所は違っても仲間の顔が同じという大事なことが変わらないので、大きなリスクにはなりません。

皆さんすぐになれて下さって、お昼休みには散歩を気軽にされました。

近いからと、新しい方が2人初めて参加下さったのですが、この辺りはお自身のホームグラウンド。地域の説明を熱心にして下さる。

賑々しく、楽しく1日があっという間に終わりました。

何と言っても一番の圧巻は目の前の自然。部屋で椅子に腰掛けたまま、ガラス越しに見る風景は一服の絵、身も心も和みます。

本当にこんな良い環境でミニデイサービスが行えることに感謝したいと思います。

平成14年4月のミニデイサービスは

4月3日 岐阜県美術館と岐阜公園お花見
保育園 4月11・25日 事務所 4月16(火)・18日

◆今までの事務所での第3土曜日のデイサービスが、第3火曜日に変更になりました。

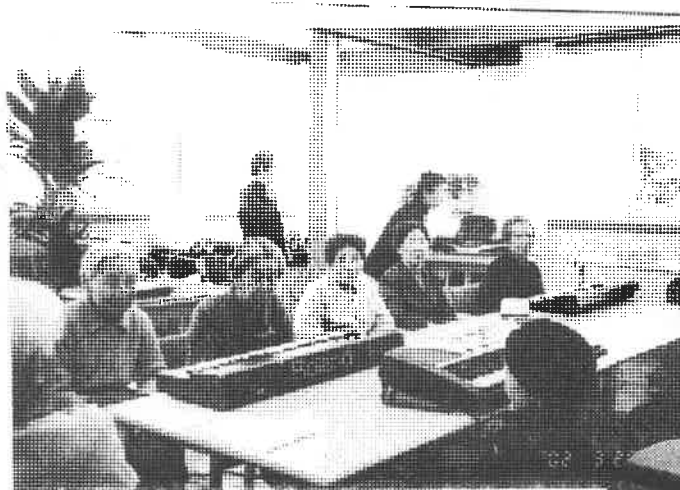
平成13年度 総会 ご案内

特定非営利活動法人

尾張地域福祉を考える会 まごころ

- ◆日時・・・平成14年5月19日(日)午前9時30分～午後1時30分
- ◆場所・・・まごころ事務所
- ◆総会・・・午前9時30分～11時
- ◆交流会・・・11時30分～午後1時30分

☆会員さんと地域の方々と昼食をとりながら交流会を行います。
恒例デイサービス参加者による演奏等の発表もあります。
皆様ご出席ください。

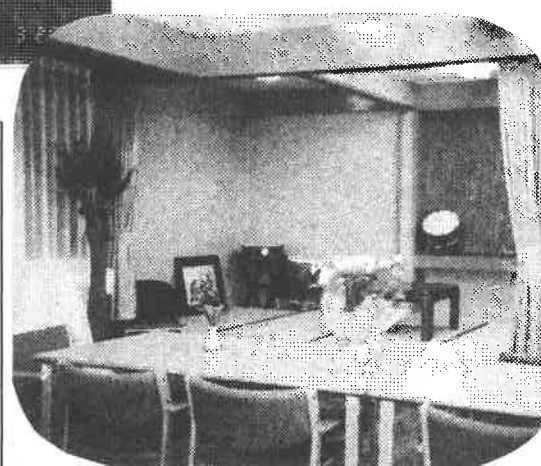


4月の予定

- 1日(月) 会報「まごころ」発行
コーディネーター会議
- 3日(水) まごころお花見
- 4日(木) 春日井コロニー訪問
- 7日(日) 定例会
- 8日(月) コーディネーター会議
- 9日(火) ミニデイ委員会
- 11日(木) ミニデイサービス
(場・保園)
- 15日(月) コーディネーター会議
- 16日(火) ミニデイサービス
(場・事務所)
- 17日(水) 高浜市施設訪問
- 18日(木) ミニデイサービス、ミニデイ促会
(場・事務所)

理事会

- 19日(金) 各部会委員会
- 22日(月) コーディネーター会議
- 23日(火) ミニデイ委員会
- 25日(木) ミニデイサービス
(場・保園)



2月会員登録状況

協力会員	43人
利用会員	62人
賛助会員	117人
計	222人

2月介護保険訪問活動

訪問件数	58件
家事	474時間
複合型	271時間
身体	259,5時間
合計	1004,5時間

2月有償活動

在宅活動件数	11件
活動人数	14人
活動時間	124.5時間
ミニデイサービス利用者	47人
移送サービス利用件数	27件

ある外科医の独り言

ある外来患者、その一 高 勝義

ある日のことです。私の外来に一人の患者さんが訪れました。名古屋のある大学病院に十数年通っていましたが、年もとって、通院するのがおっくうになり、近い山下病院での通院治療を希望してきた患者さんです。

元の病気はすでに手術がなされ、きれいに治っておりますが、手術の後、月に一回の外来診察を受けるように言われたようです。手術をした先生は、しばらくの間、術後の経過を見たかったのでしょう。患者さんは、大学の先生の言われるまま、まじめに月一回の外来通院を続けておりました。数年しますと、その主治医の先生は大学から去り、新しい先生に代わりました。

そして、又、数年すると、先生が代わりながら、外来通院を続けていたようです。患者さんの診察を始めました。首には手術の跡がありますが、その他に異常はありません。心臓も肺も正常で、全身的にも特別な異常は認められませんでした。その割には、体がだるい、食欲がない、肩が痛い等々、訴えはたくさんあります。

まず、今までどんな治療を受けていたのか聞きました。そして、患者さんが持参した薬を見せてもらいました。大切そうに包まれた薬の量を見て驚きました。ありとあらゆる薬があるではありませんか。甲状腺の薬、消化剤、鎮痛剤、緩下剤、心臓の薬、血圧の薬等々、それは十数種類もありました。

私は患者さんに、どうしてこんなに薬をたくさんもらうのですか？と聞きました。患者さんの言うには、病院に出かけると、先生がどこか悪いところはありますかと必ず聞いてきます。どこも悪くないと答えると悪いような気がして、時には少し胃が痛いとか、ある時は腰が痛いとか、つい、答えてしまいます。すると、その訴えに従って薬が増えてきたのです。どの先生も前の薬について必要か不必要か考え、種類や量を変えてくれた人はいませんでしたので、全て必要と思って服用しておりました。と、言われるではありませんか。真にびっくりしました。

私は、まず薬を減らすこととしました。まず三分の一以下の量にしました。数日後、その患者さんは、真に元気になり、外来にみえました。更に、二、三か月後、薬を全て無くしました。そして、外来通院を止めました。皆さんはこれを読んでどう思われるでしょうか？大学の先生の無責任さ、患者さんのおまかせせ医療、現在の薬害問題、医療費の無駄遣い等々、頭に思い浮かぶのではないのでしょうか？

~~~~~ (山下病院 院長) ~~~



## 5月の定例会は

5月5日(日)事務所 9時30分～12時30分

◆定例会 9時30分～10時30分

◆ケア検討会 10時30分～12時30分

この日の午前のケアはお休みです  
利用者さんよろしくお願ひ致します

情報  
一宮市にはじめてのグループホーム開所  
痴呆対応型共同生活介護事業所「グループホーム若竹」  
一宮市せんい3-9-25 ☎0561-471119